

長崎北病院 伝言板 12月号

令和4年12月1日発行

12月。例年なら「街角には クリスマスツリー、銀色のきらめき Silent night, Holy night」のはずですが、今年は「街角にはコロナ ウィルス、マスクのきらめき Silent night」。イルミネーションもポツポツと寂しい。されど年末、正月。感染予防をしてこじんまりと。楽しいクリスマス、正月を！



FIRE (ファイア) は無理

今年も年末になってコロナの波が大きくなってきました。人の行き来も活発になってきていますので当たり前でしょう。周囲にはウィルスがいる、自分も感染する、感染している可能性がある、周囲に広げないという認識が必要です。

コロナのおかげで病院の仕事も苦勞が増えていきます。もちろん感染者を直接担当することは大変ですし、ストレスも大きい。それ以外の病棟は感染病棟に人員が必要なために人手が不足します。本来の仕事ができない部門、職員や入院患者さんの感染、クラスター発生、職員や家族の感染による労働力不足など毎日色々な問題が起こってきます。

忙しい。精神的にもきつい。表情は険しくなり、動きや口調も荒くなりがち。「どうせ仕事するなら楽しんでやろう」などという人がいますがそれは無理。仕事が上手くいって楽しかった、よかったということも時にはあるでしょう。しかし、きついことも多いし、仕事したくない日もある。仕事が趣味という人も少数はいるかもしれないが、絶滅危惧種。仕事は自分の都合ではできない。生活のため、収入のためでもある。「楽しくない時間」も多いはず。しかし、ボランティアではない。仕事で収入を得ていればそれは「プロ」です。



プロとしての仕事は楽しかろうが楽しくなかろうが、完璧に実行する必要があります。表情や態度、言葉も仕事のうちです。どうせ仕事するなら、しなくてはいけない仕事なら、「いやいややっている」と見えないように完遂するのがプロです。苛立ちが態度に表れればプロ失格です。気持ちはどうでもまずは、笑顔と挨拶。そうすれば笑顔が返ってきます。仕事しやすくなります。



最近「FIRE (ファイア) : Financial Independence (経済的自立)、Retire Early(早期退職)」という言葉を目にします。「早くお金をためて仕事を辞めて悠々自適」という意味でしょうか。定年まで働き、ビジネスで成功することを目指すのではなく、仕事はさっさと辞めて資産運用などで働かずに暮らしていくという生活スタイルです。最近の20-30代の人に注目されているのだそうです。時間に追われる事もなく、朝はゆっくり、昼は趣味に、夜はリラックス。仕事に追われる事もなくプロとして頑張る必要もありません。理想の生活？でしょうか。

ところが、最近「FIRE卒業」する人が多いという記事がありました。もちろんお金が続かなくなって再就職の方もいると思います。もう一つはFIREを達成し早期退職し、お金と膨大な自由時間を手に入れたものの、「毎日が休日」といった日々を持て余してしまった人。むしろ何もしないことに疲れてしまったというパターン。やっぱり仕事したい、戻りたいと思う人が多いのだそうです。1ヶ月で時間を持て余した人や、ご主人がずっと家にいるので奥さんがストレスになり仕事復帰したと言う例もあるとか。仕事も苦しいだけでなく効用もあるようです。FIREを目指すもよし、定年を目指すもよし。しかし仕事中はプロに徹しましょう。(家にいると嫌がられるパターンかもしれない) (A.S.)



年末年始は**12月29日～1月3日まで休診**です。

1年間ありがとうございました。
新しき年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

